
cAnDyRaIn

芹沢雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

c A n d y R a i n

【Nコード】

N 9 2 0 1 Z

【作者名】

芹沢雨

【あらすじ】

桜樹霖、15歳。

父が亡くなり、母がそのことでショックを受け昏睡状態に。そのため1人になった私は言いつけを守り、母の実家「東宮家」に行くことに。するとそこで霖を待っていたのは大きなお邸と母の過去。

しかも残酷すぎる家の掟があることを知り……！！

一応恋愛系です。

東宮さんちでの始まり。

「こ…ここが東宮さん？」

初めまして、桜樹霖さくじゅりんです。

今、大変な状況に陥っています。

父が亡くなり、母が昏睡状態になり母の言いつけでこの「東宮」さんに来たんですが…。

目の前がお邸です、大変です、見たことがないくらい大きいです。

「おや？久しぶりのお客さんだなーどなたかい？」

「はっ…初めまして！！桜樹霖です」

「おお！！霖様でしたか、ささどつぞ中へ」

「えっちよっええええええ」

「先程は失礼致しました。」

「あのー…ここ、どこですか？」

「ここは東宮総本家五十二代目当主・緋景ひかげ様のお部屋です」

「緋景って…お母さんのことですか？」

「はい、緋景様はこの東宮家の当主殿です」

「知らなかった…お母さんがそんなに偉い人だったなんて…」

「はい。緋景様は15年前、この家を出ていかれましたので…」

「結婚したってことですよね」

「そうですね、大変な騒ぎにはなりましたけど…。」

「そうなんですか…。」

「そして私は緋景様付きの使用人、東宮苑月とうきゅづきです」

「あ、よろしく願います！！」

「はい、霖様には【十家】全員を紹介しなければなりませんものね」

「え？」

「霖様は緋景様の1人娘…ということは次のご当主様です。なので家の者を全て知っていただかないと…」

「な…何人ほどいらっしやるんですか」

「…ざつと20人越えですかね。一応仕組みをご紹介しますと…東宮分家の方が【十家】ありまして…」

「ほうほう」

「…それだけです」

「え。」

「霖様には後日、ご紹介しますので今日はゆっくりお休みになられてくださいませ」

「は、はい！」

「では、これにて。」

知らなかった。お母さんの実家がこんなところだなんて。

…それより、お母さんがカケオチしただなんて。

「あー頭がパンクしてきました。」

私、小さい頃からの癖というかその…考えすぎると知恵熱が出てしまいます。

こうゆう時には、寝た方がよいのです！おやすみなさい！！

東宮さんちでの始まり。(後書き)

第1話、短すぎますよね。

次回から家の掟とか登場人物とか書いていきたいと思っています。頑張りますので、よろしくおねがいます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9201z/>

cAnDyRaIn

2011年12月28日20時51分発行